

3-15 関東・東海地域における最近の地殻傾斜連続観測 (1980年5月～10月)

Recent Continuous Measurements of Ground Tilt in the Kanto-Tokai Area(May-October, 1980)

国立防災科学技術センター
National Research Center for Disaster Prevention

前報¹⁾²⁾に引き続き、防災センターが関東・東海地域で実施している地殻傾斜の連続観測結果について報告する。

第1図に各観測点のステーションコード、観測点名、緯度、経度、センサー部の設置深度を示す。銚子(CHS)、葦山(NRY)は、54年度に新設した観測点である。

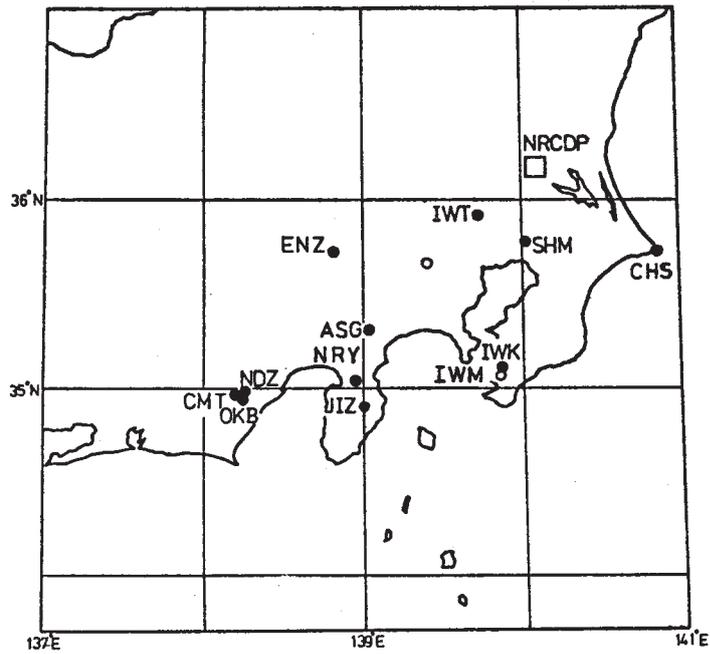
第2図に各観測点における1980年5月～10月までの6ヶ月間の観測結果を示す。6月に発生した伊豆半島東方沖群発地震に伴うステップが中伊豆でいくつか観測された。9月8日頃から銚子で、それまでの定常的ドリフト量を越える変動が認められる。この他に、その他の観測点においても地震時のステップ、降雨に伴う変動や原因不明の変動がいくつか観測されているが、今までのところ地震に直接結びつくと考えられる異常変動は見い出されていない。

なお、銚子、葦山における設置方位は、当初は図中に示すX、Y方向であるが、銚子については10月に、南北、東西方向に再設置し、葦山についても同方向に近々設置する予定である。

(山本英二)

参 考 文 献

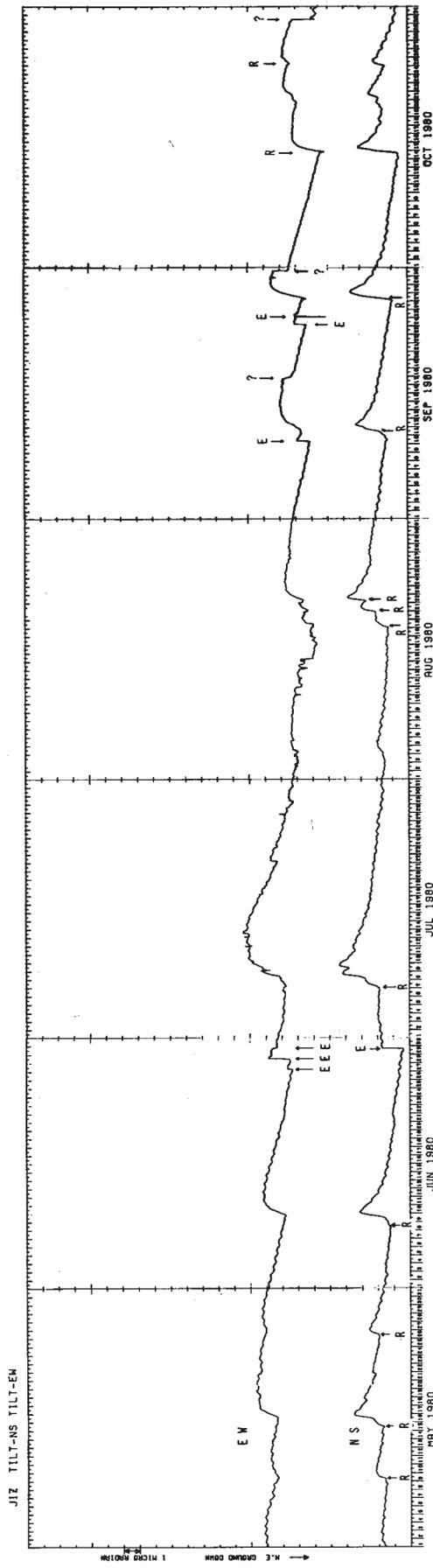
- 1) 国立防災科学技術センター：最近の関東・東海地域における地殻傾斜の連続観測，連絡会報，23(1980)，144 - 148.
- 2) 国立防災科学技術センター：最近の関東・東海地域における地殻傾斜の連続観測，連絡会報，24(1980)，60 - 66.



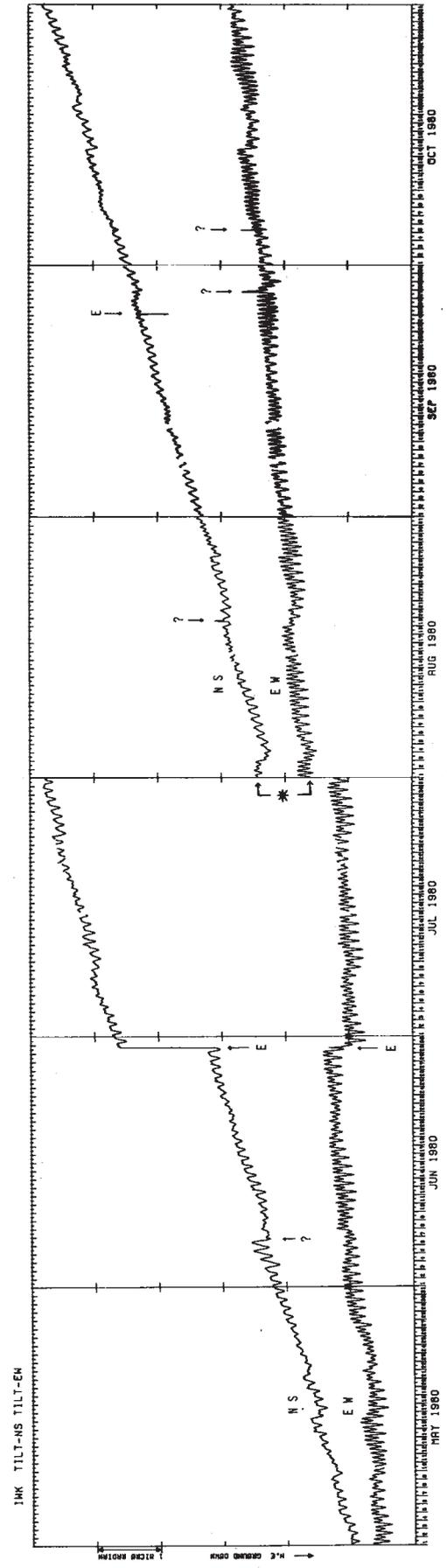
CODE	NAME	LAT. (N)	LONG. (E)	DEPTH (M)
ASG	MINAMIASHIGARA	35.3138	139.0279	94
CHS	CHOSHI	35.7022	140.8550	94
CMT	CHIKAMATA	34.9722	138.2488	54
ENZ	ENZAN	35.7360	138.8053	89
IWK	IWAI-KITA	35.0981	139.8714	50
IWM	IWAI-MINAMI	35.0802	139.8646	50
IWT	IWATSUKI	35.9258	139.7381	3510
JIZ	NAKAIZU	34.9129	138.9968	VAULT
NDZ	NODAZAWA	34.9605	138.2797	53
NRY	NIRAYAMA	35.0599	138.9628	104
OKB	OKABE	34.9500	138.2538	102
SHM	SHIMOHSA	35.7934	140.0238	2330

第1図 地殻傾斜の観測点分布

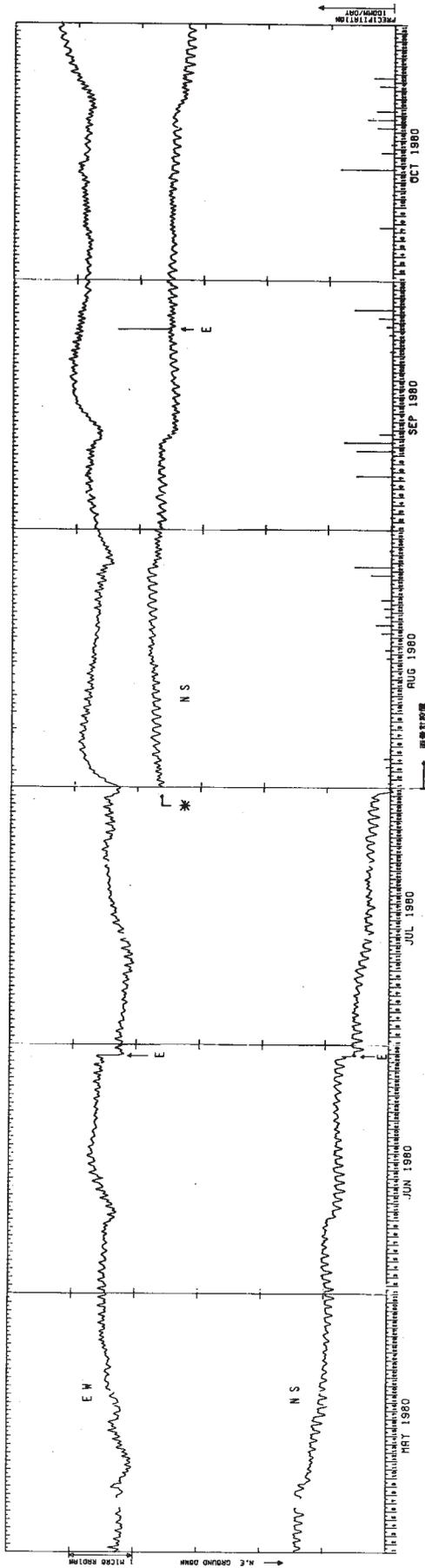
Fig. 1 Distribution of stations for crustal tilt measurements.



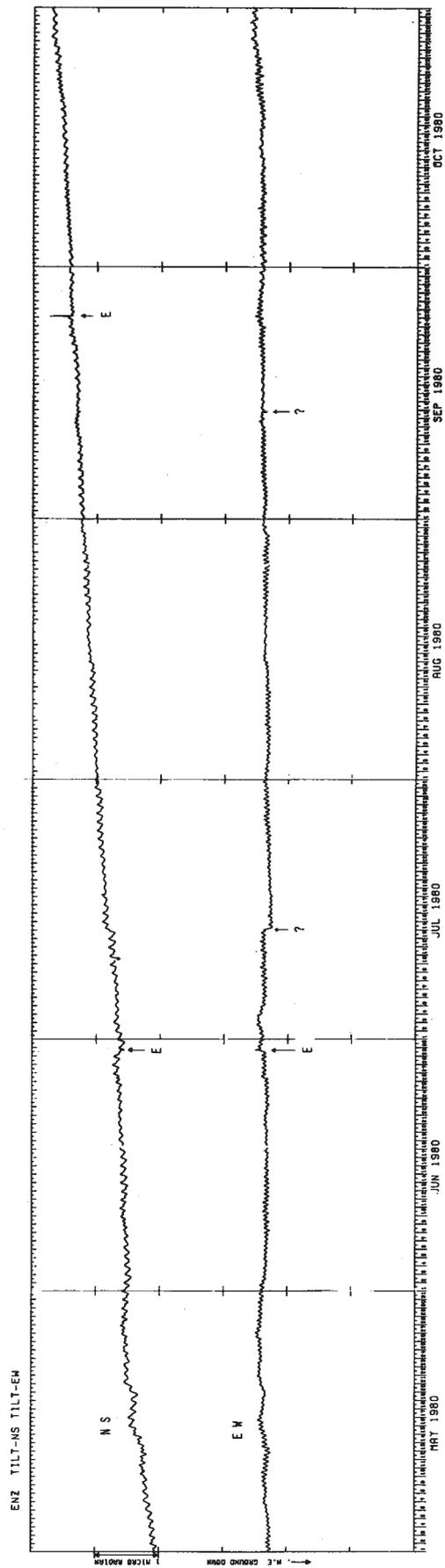
(3)



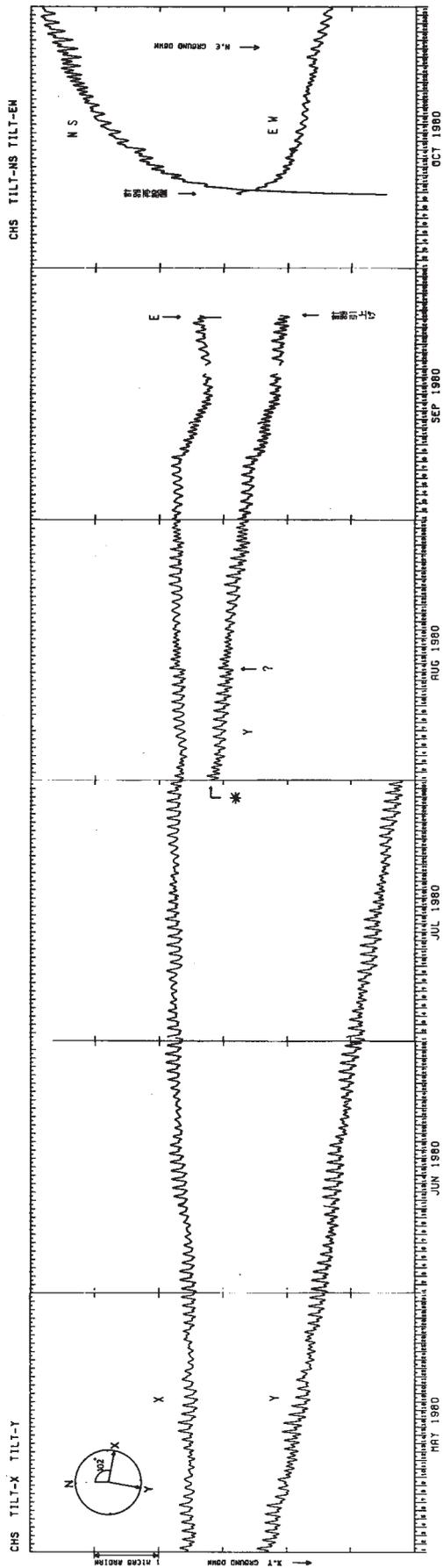
(4)



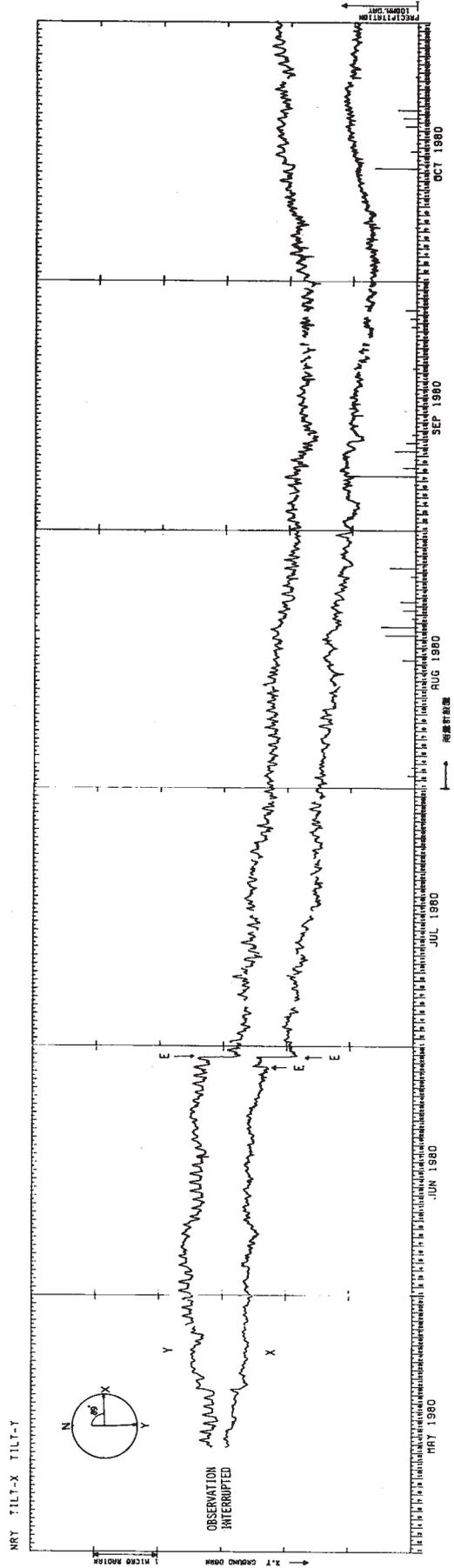
(5)



(6)



(7)



(8)

第2図 地殻傾斜の観測結果 (1980年5月～10月)

Fig. 2 Results of crustal tilt measurements (May - October, 1980).
R: Rainfall; E: Earthquake; *: Offset.